

10:00 開会挨拶

1. 10:05-11:45 システム開発

10:05-10:30

月極域探査ローバの経路計画プラットフォーム開発
伊深 康一郎（会津大学）・出村 裕英（会津大学）

10:30-10:55

新しい科学衛星・探査機向け Quick Look システムの構築と、SLIM 実運用への適用結果
中平 聡志（JAXA）・横田 健太郎（JAXA）・秋月 祐樹（JAXA）・金谷 周朔（JAXA）・後藤 健太（JAXA）・
伊藤 琢博（JAXA）

10:55-11:20

ISAS/JAXA における次世代探査機クイックルックシステムの異常検知の実装
ウェージメーカーズ ブラム（Intern）・中平 聡志（JAXA）・海老沢 研（JAXA）

11:20-11:45

特微量表現によるテレメトリ異常説明手法の検討
勝部 駿（東京都立大学大学院）・佐原 宏典（東京都立大学）

11:45-13:00 昼休憩（75分）

2. 13:00-14:15 データ処理・解析

13:00-13:25

ひとみ衛星の硬X線望遠鏡で撮像したカニ星雲の Image Deconvolution
森井 幹雄（JAXA）・前田 良知（JAXA）・栗木 久光（愛媛大学）・萩野 浩一（東京大学）・石田 学（JAXA）・
森 浩二（宮崎大学）

13:25-13:50

自然地形の模擬に係る、形状の構成要素に対するユニーク ID 付与方法
三浦 昭（JAXA）・諸田 智克（東京大学）・菊地 紘（JAXA）・和田 浩二（千葉工業大学）

13:50-14:15

マルチソースコンポーザーを使った COLD ビッグデータとの対話
古庄 晋二（NII テクノロジーズ）・飯沢 篤志（リコーITソリューションズ株式会社）・
手塚 宏史（一般社団法人 俯瞰工学研究所）・山本 幸生（JAXA）・松久 孝志（（株）セック）・
飯田 学（（株）セック）・長尾 正（Layman's Admin）

3. 14:15-15:05 衛星工学

14:15-14:40

生成画像を用いた日照条件の変化にロバストな画像航法の検討
都筑 大樹（東京大学大学院）・橋本 樹明（JAXA）

14:40-15:05

Wireshark を用いた科学衛星プロトコル (地上通信) の表示・解析

松崎 恵一 (JAXA)・山本 幸生 (JAXA)・尾川 順子 (JAXA)・石田 貴行 (JAXA)・増田 敬史 (JAXA)・
山本 伸一郎 (JAXA)・高田 光隆 (名古屋大学)・橋本 奨平 ((株)セック)・大内 大輝 ((株)セック)

15:05-15:15 休憩 (10分)

15:15-16:45 特別講演

15:15-16:00

特別講演 I

祖父江 真一 (JAXA 第一宇宙技術部門、地球観測統括付、OSS 対応検討チーム長)

「JAXA 地球観測衛星分野におけるオープンサイエンス、特に NASA が主導するオープンソースサイエンス (OSS) への取り組み状況について」

16:00-16:45

特別講演 II

寺田 幸功 (埼玉大学 / JAXA, XRISM プロジェクト科学運用チームリーダー)

「XRISM 衛星アーカイブに向けた地上高次データ処理の開発」

田代 信 (埼玉大学/JAXA)・高橋 弘充 (広島大学)・信川 正順 (奈良教育大学)・

水野 恒史 (広島大学)・宇野 伸一郎 (日本福祉大学)・久保田 あや (芝浦工業大学)・中澤 知洋 (名古屋大学)・

渡辺 伸 (JAXA)・飯塚 亮 (JAXA)・佐藤 理江 (JAXA)・林 克洋 (JAXA)・米山 友景 (中央大学)・

吉田 鉄生 (JAXA)・Baluta Chris (NASA/GSFC)・海老沢 研 (JAXA)・江口 智士 (熊本学園大学)・

勝田 哲 (埼玉大学)・北口 貴雄 (理化学研究所)・太田 直美 (奈良女子大学)・志達 めぐみ (愛媛大学)・

谷本 敦 (鹿児島大学)・寺島 雄一 (愛媛大学)・坪井 陽子 (中央大学)・内田 和海 (JAXA)・

内田 悠介 (東京理科大)・内山 秀樹 (静岡大学)・山田 智史 (理化学研究所)・山内 茂雄 (奈良女子大学)・

Holland Matt (NASA/GSFC)・Loewenstein Michael (NASA/GSFC)・

Miller Eric (Massachusetts Institute of Technology)・Yaqoob Tahir (NASA/GSFC)

16:45 閉会挨拶